

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

- 内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
- 大藏大臣 博士 阪谷芳郎
- 遞信大臣 山縣伊三郎
- 外務大臣 子爵林 董

明治四十年二月二十一日(官報二月二十二日)

御名 御璽

公布セシム

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約

年	大五十八年	大五十九年	大五十九年	自六十年	至六十年
月	六	六	六	六	六
日	六	六	六	六	六
時	六	六	六	六	六
分	六	六	六	六	六
秒	六	六	六	六	六
...

南滿洲鐵道株式會社ニ對シ左ノ條件ニ依リ其利益配當及社債利子ノ補給ヲ爲シ竝社債元利ノ支拂ヲ保證スルノ契約ヲ結フコトヲ得

一 會社ハ明治三十八年十二月二十二日調印ノ滿洲ニ關スル日清條約附屬協約ニ依リ大連長春間、南關嶺旅順間、大房身柳樹屯間、大石橋營口間、煙臺煙臺炭坑間、蘇家屯撫順間及奉天安東縣間ノ鐵道運輸業竝鐵道便益ノ爲鑛業殊ニ撫順及煙臺ノ炭坑採掘、水運業、電氣業、倉庫業、鐵道附屬地ニ於ケル土地及家屋ノ經營其ノ他政府ノ許可ヲ受ケタル業務ヲ營ミ且該鐵道ハ營業開始ノ日ヨリ三箇年內ニ四呎八吋半ノ軌間ニ改築シ大連長春間ノ內大連蘇家屯間ヲ複線ト爲シ又沿道主要ノ停車場ニ旅客ノ宿泊食事及貨物ノ貯藏ニ必要ナル諸設備ヲ爲シ線路ノ港灣ニ達スル地點ニ於テ水陸運輸ノ連絡ニ必要ナル設備ヲ爲スコト

二 資本總額ハ金四億四千萬圓トシ每營業年度ニ於ケル利益配當カ日清兩國政府以外ノ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ニ達セサルトキハ政府ハ設立登記ノ日ヨリ起算シ十五箇年間ヲ限

リ之ヲ補給スルコト(大正九、八、一改正)

三 利子補給額ハ如何ナル場合ト雖モ日清兩國政府以外ノ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ヲ超過セサルコト

四 每營業年度ニ於ケル利益配當カ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ヲ超過セサルトキハ政府ノ持株ニ對シ配當ヲ爲スヲ要セサルコト

五 鐵道ノ改築又ハ附帶事業ノ經營ノ爲發行スル社債及該社債ヲ整理償還スル爲發行スル社債ニ對シ政府ハ其ノ利子支拂ノ保證ヲ爲シ仍必要アラハ元金支拂ノ保證ヲ爲スコトアルヘキコト

六 政府ニ於テ保證スヘキ社債ノ額面金額ハ資本總額ヲ超過セサルコト

前項ニ依リ保證スル社債金額ハ借替ノ場合ヲ除クノ外其ノ都度帝國議會ノ協贊ヲ經ルコトヲ

要ス(明治四三、三、二六改正)

七 政府ニ於テ保證ノ社債ハ起債ノ年ヨリ二十五箇年内ニ償還スルコト

八 第五項ノ趣旨ニ依リ會社ノ發行スル社債ニ對シテハ其ノ拂込登記ノ翌月ヨリ政府ハ其ノ社債ノ利子ニ相當スル金額ヲ補給スルコト

九 株主ノ拂込金ニ對スル利益配當年六分ノ割合ヲ超過スルニ至リタルトキハ其ノ超過ノ金額ハ先ツ社債ノ利子ニ充當スルコト此ノ場合ニ於テハ前項補給金ハ該充當額ヲ控除シテ下付スルコト

十 會社ノ利益カ前項社債利子ヲ支拂ヒ尙ホ剩餘アルトキハ該殘額ハ總株式ノ各拂込高ニ對シ配當割合均一ニ至ルマテ之ヲ日清兩國政府持株ニ配當スルコト但日支兩國政府持株ニ對スル利益配當カ年四分三厘ノ割合ニ達シタルトキハ株主ノ拂込金ニ對シ年四分ノ割合ヲ超エサル範圍内ニ於テ更ニ第二配當ヲ爲スコトヲ妨ケス(大正三、三、二八但書追加、同八、四、五及同九八、一但書中改正)

十一 第二項及第八項ニ規定シタル政府ノ補給金ハ之ニ年六分ノ割合ノ利子ヲ付シ之ヲ毎年元金ニ加算シ政府ニ對スル會社ノ債務トスルコト

十二 會社ノ總株式ニ對スル利益配當カ年一割ノ割合ヲ超過スルニ至リタルトキハ其ノ超過額ハ前項債務ノ償還ニ充ツルコト

〆ヤハ大業姑表之ニテ我々則チ各望チ輪福察請チ引退
 取テ猶當學勉五ノシノ私會與案ハ取附ニチ停請各望之々見ヘ我マニ
 存ニ亦之請亦早見送 草々
 子ノセハニ付輪也五案ノ實買ハ之ニ難附命合書ノ如五ニ附ハロイニ難對
 之ハ意利ニテマニ猶當ノ附則ハ三大引命合書ニモリ難附ノ取請モ受之
 次チ亦請則モ本業請則モモリ附ハ主業ハ之ニモリ取テ猶當學ノ自由モ主業
 ハ今日ニ列スハ全々存附ノ取由ナキチノニ存之類
 亦テハ子亦益猶當附條ノ附附イ見ハモリ代無之亦請條ノ取付ナサハニ至
 ハ附則ハロイ當然イ存附則ニ亦請條ノ取付ナサハニ至
 附之全然存附則ノ附則内ニ難之難會ニ困難ノ必要ナキ亦益猶當附則ノ取
 附之甚之難附マハ一ノ附則ハ之ニ子固附ノ必要無之類
 附文中「其ノ亦益猶當附」ノ字ハ一三三四ノハ谷田モ附ハロイ
 附申
 〆谷田モ存附ナシハ子不存付附イ存附則モ其ノ適合ニハ之ノ取付イ附則

換算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

南洋洲鐵道株式會社社債保證
 南洋洲鐵道株式會社社債保證及社債利子補給社債元利支拂保證ニ關シ換
 算外國庫會ノ協贊ヲ經タル換算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要ス
 ル件本文中「利益配當及」ヲ削リ條件中左ノ題改定ス

- 第二項 削除
- 第三項 削除
- 第七項 削除
- 第十項 但書ニ左ノ如ク追加ス
 日支兩國政府持株ニ對スル利益配當カ年四分三厘ノ割合ヲ超ユルニ至
 リタルトキハ其ノ超ユル割合ヲ限度トシ株主ノ拂込金ニ對シ年二分ノ
 割合ヲ超エサル範圍内ニ於テ第二配當ヲ増加スルコトヲ得
- 第十一項中「第二項及」ヲ削ル

(4,1 德譯)

第十一條中「第二項及」マ附ス

聯合マ限ニヤハ其ノ限ニテ聯合マ限ニテ
日支兩國通商銀行ニ限スル限ニテ
第十條用書ニテハ其ノ限ニテ

第三條 附條
第二條 附條

本本文中「附條」マ附ス
本條中「附條」マ附ス
本條中「附條」マ附ス

説明

南洋洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並ニ社債元利支拂保證ニ關
シ其ニ當國議會ノ協賛ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲ス
ヲ要スル件ハ利益配當ノ補給ニ付テハ既ニ其ノ補給期間ヲ經過シタルヲ
以テ之ヲ削除シ且利益配當ノ制限ニ關スル條件ハ之ヲ緩和シ以テ同會社
ノ實狀ニ適スル配當ヲ爲スコトヲ得シムルノ途ヲ開ク等ノ爲之ヲ改定ス
ルノ必要アルニ依ル

第十一條中「第二項」ヲ削除ス
 同條中「第三項」ヲ削除ス
 同條中「第四項」ヲ削除ス
 同條中「第五項」ヲ削除ス
 同條中「第六項」ヲ削除ス
 同條中「第七項」ヲ削除ス
 同條中「第八項」ヲ削除ス
 同條中「第九項」ヲ削除ス
 同條中「第十項」ヲ削除ス
 同條中「第十一項」ヲ削除ス
 同條中「第十二項」ヲ削除ス
 同條中「第十三項」ヲ削除ス
 同條中「第十四項」ヲ削除ス
 同條中「第十五項」ヲ削除ス
 同條中「第十六項」ヲ削除ス
 同條中「第十七項」ヲ削除ス
 同條中「第十八項」ヲ削除ス
 同條中「第十九項」ヲ削除ス
 同條中「第二十項」ヲ削除ス
 同條中「第二十一項」ヲ削除ス
 同條中「第二十二項」ヲ削除ス
 同條中「第二十三項」ヲ削除ス
 同條中「第二十四項」ヲ削除ス
 同條中「第二十五項」ヲ削除ス
 同條中「第二十六項」ヲ削除ス
 同條中「第二十七項」ヲ削除ス
 同條中「第二十八項」ヲ削除ス
 同條中「第二十九項」ヲ削除ス
 同條中「第三十項」ヲ削除ス
 同條中「第三十一項」ヲ削除ス
 同條中「第三十二項」ヲ削除ス
 同條中「第三十三項」ヲ削除ス
 同條中「第三十四項」ヲ削除ス
 同條中「第三十五項」ヲ削除ス
 同條中「第三十六項」ヲ削除ス
 同條中「第三十七項」ヲ削除ス
 同條中「第三十八項」ヲ削除ス
 同條中「第三十九項」ヲ削除ス
 同條中「第四十項」ヲ削除ス
 同條中「第四十一項」ヲ削除ス
 同條中「第四十二項」ヲ削除ス
 同條中「第四十三項」ヲ削除ス
 同條中「第四十四項」ヲ削除ス
 同條中「第四十五項」ヲ削除ス
 同條中「第四十六項」ヲ削除ス
 同條中「第四十七項」ヲ削除ス
 同條中「第四十八項」ヲ削除ス
 同條中「第四十九項」ヲ削除ス
 同條中「第五十項」ヲ削除ス
 同條中「第五十一項」ヲ削除ス
 同條中「第五十二項」ヲ削除ス
 同條中「第五十三項」ヲ削除ス
 同條中「第五十四項」ヲ削除ス
 同條中「第五十五項」ヲ削除ス
 同條中「第五十六項」ヲ削除ス
 同條中「第五十七項」ヲ削除ス
 同條中「第五十八項」ヲ削除ス
 同條中「第五十九項」ヲ削除ス
 同條中「第六十項」ヲ削除ス
 同條中「第六十一項」ヲ削除ス
 同條中「第六十二項」ヲ削除ス
 同條中「第六十三項」ヲ削除ス
 同條中「第六十四項」ヲ削除ス
 同條中「第六十五項」ヲ削除ス
 同條中「第六十六項」ヲ削除ス
 同條中「第六十七項」ヲ削除ス
 同條中「第六十八項」ヲ削除ス
 同條中「第六十九項」ヲ削除ス
 同條中「第七十項」ヲ削除ス
 同條中「第七十一項」ヲ削除ス
 同條中「第七十二項」ヲ削除ス
 同條中「第七十三項」ヲ削除ス
 同條中「第七十四項」ヲ削除ス
 同條中「第七十五項」ヲ削除ス
 同條中「第七十六項」ヲ削除ス
 同條中「第七十七項」ヲ削除ス
 同條中「第七十八項」ヲ削除ス
 同條中「第七十九項」ヲ削除ス
 同條中「第八十項」ヲ削除ス
 同條中「第八十一項」ヲ削除ス
 同條中「第八十二項」ヲ削除ス
 同條中「第八十三項」ヲ削除ス
 同條中「第八十四項」ヲ削除ス
 同條中「第八十五項」ヲ削除ス
 同條中「第八十六項」ヲ削除ス
 同條中「第八十七項」ヲ削除ス
 同條中「第八十八項」ヲ削除ス
 同條中「第八十九項」ヲ削除ス
 同條中「第九十項」ヲ削除ス
 同條中「第九十一項」ヲ削除ス
 同條中「第九十二項」ヲ削除ス
 同條中「第九十三項」ヲ削除ス
 同條中「第九十四項」ヲ削除ス
 同條中「第九十五項」ヲ削除ス
 同條中「第九十六項」ヲ削除ス
 同條中「第九十七項」ヲ削除ス
 同條中「第九十八項」ヲ削除ス
 同條中「第九十九項」ヲ削除ス
 同條中「第一百項」ヲ削除ス

一、滿鐵豫算外契約ノ改定ノ要旨

明治四十年二月帝國議會ノ協贊ヲ經タル滿鐵豫算外契約ハ政府ニ於テ同
 會社ノ利益配當及社債利子ノ補給ヲ爲シ茲其ノ社債元利ノ支拂ヲ保證ス
 ルモノニシテ、十二項ニ且ルノ條件ヲ以テセルモノナリ。其後右條件中
 ニハ數次改定ヲ加ヘラレタル所アリテ今日ニ及ヘルモノナルカ、今回更
 ニ之ニ改定ヲ加ヘントスルモノニシテ其ノ要旨次ノ如シ
 第一、本文中「利益配當ノ補給ヲナスコト」ヲ削除シ條件第二及第三ヲ削
 除シ第十一項中「第二項」ヲ削除ス。利益配當ノ補給ハ條件第二及第
 三ニ規定スル所ニシテ、毎營業年度ノ利益配當カ民間株主ノ拂込金ニ
 對シ年六分ノ割合ニ連セサルトキハ、設立登記（即チ明治三十九年十
 二月七日）ノ日ヨリ起算シ十五ヶ年間ヲ限り、民間株主ノ拂込金ノ年

第一配當六分第二配當四分合セテ一額ノ配當ヲ爲シ來レリ、今回此ノ
 額限ヲ緩和シテ會社ノ實狀ニ適スル配當ヲナスコトヲ得シメントスル
 モノニシテ、其詳細ノ理由ハ次ニ述フル所ノ如シ

政府ニ増配シ得ル率ノ範圍内ニ於テ増加シ得ルコトトス。現在利益配
 當ノ制限ニ關シテハ、會社ノ利益カ民間株主ニ對シテ年六分ノ配當ヲ
 ナシ尙剩餘アルトキハ總株式ニ對シテ配當割合カ均一ニ至ル迄政府持
 株ニ配當スルコトヲ本則トスルモ、政府株式ニ對シテ年四分三厘ノ配
 當ヲナストキハ民間株主ニ對シテ年四分以内ノ第二配當ヲナスコトヲ
 妨ケサルモノトセラレ大正十年以來昭和二年迄迄政府四分三厘、民間

二、滿鐵豫算外契約改定ノ理由

滿鐵ノ配當ハ豫算外契約第十項ニ於テ制限ヲ附シ會社ノ利益カ民間株主ニ對シテ年六分ノ第一配當ヲナシ尙剩餘アルトキハ總株式ニ對シテ配當割合カ均一ニ至ル迄政府持株ニ配當スルコトヲ本則トシテ獨ク政府持株ニ對シテ年四分三厘ノ配當ヲナストキハ民間株主ニ對シテ年四分以内ノ第二配當ヲナスコトヲ妨ケサルモノトナスモノナルコト前記セル通りニシテ大正十年以來昭和二年迄迄政府四分三厘民間第一配當六分第二配當四分合セテ一割ノ配當ヲ爲シ來レリ

然ルニ近時會社ノ利益カ増加ヲ見ルニ伴ヒ利益配當ハ元來其ノ營業狀態ニ應ジテ増減セラルヘキモノナルニ拘ラス此ノ如キ制限ヲ設ケテ融通性ヲ乏シカラシムルハ社業ノ健全ナル發達ヲ促ス所以ニアラサルコトヲ囑ヘラル、ニ至リタリ、蓋民間株主側ヨリ見レハ會社カ營業狀態良好ナルモ其ノ配當ニ影響ナキハ株主ヲシテ其ノ事業ニ無關心ナルコトヲ求ムルノ結果トナリ又會社經營者ノ側ヨリ見レハ社員（同時ニ功勞株ノ配當等ニ依リテ株主タルモノアリ又然ラサル者ト雖）ハ其ノ努力ニ依リテ其營

(4.1 續前頁)

大藏省

大藏省
 滿鐵豫算外契約改定ノ理由
 滿鐵ノ配當ハ豫算外契約第十項ニ於テ制限ヲ附シ會社ノ利益カ民間株主ニ對シテ年六分ノ第一配當ヲナシ尙剩餘アルトキハ總株式ニ對シテ配當割合カ均一ニ至ル迄政府持株ニ配當スルコトヲ本則トシテ獨ク政府持株ニ對シテ年四分三厘ノ配當ヲナストキハ民間株主ニ對シテ年四分以内ノ第二配當ヲナスコトヲ妨ケサルモノトナスモノナルコト前記セル通りニシテ大正十年以來昭和二年迄迄政府四分三厘民間第一配當六分第二配當四分合セテ一割ノ配當ヲ爲シ來レリ

大藏省

二、増配マシテ主クシテ更ニ増配マシテ（ハ其ノ後ハ二増配マシテ其後
 へ結果イナリ更ニ増配マシテ（ハ其ノ後ハ二増配マシテ其後
 其ノ増配マシテ更ニ増配マシテ（ハ其ノ後ハ二増配マシテ其後
 ハ其ノ増配マシテ更ニ増配マシテ（ハ其ノ後ハ二増配マシテ其後
 マシテ更ニ増配マシテ（ハ其ノ後ハ二増配マシテ其後
 二増配マシテ更ニ増配マシテ（ハ其ノ後ハ二増配マシテ其後
 増配マシテ更ニ増配マシテ（ハ其ノ後ハ二増配マシテ其後
 二、増配マシテ更ニ増配マシテ（ハ其ノ後ハ二増配マシテ其後

大 蔵 省

(附則 1.)

業状態ヲ良好ナラシムルモ其ノ結果カ配當ニ現ハレサルヲ以テ其經營心
 ヲ刺激スルノ所以ニアラサルコトハ人情ノ免レサル所ナリトス故ニ現在
 ノ配當割合以上ニ利益ヲ生スル場合ニ於テハ政府民間共ニ其ノ配當割合
 ヲ増加シ得ルノ途ヲ開クノ必要アリトス而シテ滿鐵ニ在リテハ近時社業
 ノ隆盛ニ伴ヒ幾ニ昭和二年度決算ニ於テ不良資産ト認ムヘキモノハ全部
 之レヲ切捨テ昭和三年度決算ニ於テハ政府民間共ニ一分宛其配當ヲ増加
 シ政府五分三厘、民間一分一分ト爲スノ可能性ヲ認メ得ルニ付此際利益
 配當制限ヲ撤廢シテ昭和三年度決算ヨリ一分ノ増配ヲ爲スコト、セント
 ス、而シテ之レヲ以テ當分固定セシムルコト、セントカ株主並ニ社員ヲ刺激
 スルノ效果ハ頗大ニシテ消滅セントスル傾向アルヲ以テ民間株式ノ配當
 制限撤廢限度ハ二分トシ會社事業ノ發展社業ノ隆盛ニ應ジ更ニ増配シ得
 ル餘地ヲ存セシメテ以テ株主ノ注意社員ノ經營心ヲ不斷ニ刺激セントス
 ルモノナリ

然リ而シテ已ニ民間株主ニ一分ノ増配ヲ爲ス以上政府株式ニ對シテモ同
 様一分ノ増配ヲ行ヒ五分三厘トナサシメントス然レトモ之レ政府ニ於テ

大 蔵 省

(4.1 附則1)

Vertical columns of dense Japanese text, likely a list or detailed report, arranged in a grid-like format.

(附録 1)

テ政府ニ於テ其ノ株式配當額ヲ増加スルコトモ之レハ同時ニ南滿洲鉄
路鐵關係ニ於テ相當ノ負擔ヲ増加スルヲ以テ此ノ方面ヨリ觀ルモ増配ノ
理由ヲ有スルモノニシテ後ニ民間株主ノ増配ニ迫置均括セントスルモノ
ニアラサルナリ

三、南滿洲鐵道株式會社ニ關スル豫算外契約ノ沿革

第一、當初ノ文書

南滿洲鐵道株式會社ニ對シ其ノ利益配當及社債利子ノ補給、社債元利ノ支拂保證ノ契約ヲ爲ス爲香國鐵會ノ協贊ヲ經タルモノ左ノ如シ

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(明治四十年二月二十二日) 南滿洲鐵道株式會社ニ對シ左ノ條件ニ依リ其ノ利益配當及社債利子ノ補給ヲ爲シ並社債元利ノ支拂ヲ保證スルノ契約ヲ結フコトヲ得

- 一 會社ハ明治三十八年十二月二十二日開印ノ滿洲ニ關スル日清條約附屬協約ニ依リ大連長春間、南關鐵道、大房身柳樹屯間、大石橋營口間、煙臺煙臺炭坑間、蘇家屯蓋順間及奉天安東縣間ノ鐵道運輸業並鐵道便益ノ爲續業殊ニ蓋順及煙臺ノ炭坑採掘、水運業、電氣業倉庫業、鐵道附屬地ニ於ケル土地及家屋ノ經營其ノ他政府ノ許可ヲ受ケタル業務ヲ營ミ且該鐵道ハ營業開始ノ日ヨリ三箇年內ニ四呎八吋半ノ軌道ニ改築シ大連長春間ノ內大連蘇家屯間ヲ複線ト爲シ又沿道主要ノ停車場ニ旅客ノ宿泊食事及貨物ノ貯蔵ニ必要ナル諸設備ヲ

(3.1 續前)

大 藏 省

大 藏 省

南滿洲鐵道株式會社ニ對シ其ノ利益配當及社債利子ノ補給、社債元利ノ支拂保證ノ契約ヲ爲ス爲香國鐵會ノ協贊ヲ經タルモノ左ノ如シ
 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(明治四十年二月二十二日)
 南滿洲鐵道株式會社ニ對シ左ノ條件ニ依リ其ノ利益配當及社債利子ノ補給ヲ爲シ並社債元利ノ支拂ヲ保證スルノ契約ヲ結フコトヲ得
 一 會社ハ明治三十八年十二月二十二日開印ノ滿洲ニ關スル日清條約附屬協約ニ依リ大連長春間、南關鐵道、大房身柳樹屯間、大石橋營口間、煙臺煙臺炭坑間、蘇家屯蓋順間及奉天安東縣間ノ鐵道運輸業並鐵道便益ノ爲續業殊ニ蓋順及煙臺ノ炭坑採掘、水運業、電氣業倉庫業、鐵道附屬地ニ於ケル土地及家屋ノ經營其ノ他政府ノ許可ヲ受ケタル業務ヲ營ミ且該鐵道ハ營業開始ノ日ヨリ三箇年內ニ四呎八吋半ノ軌道ニ改築シ大連長春間ノ內大連蘇家屯間ヲ複線ト爲シ又沿道主要ノ停車場ニ旅客ノ宿泊食事及貨物ノ貯蔵ニ必要ナル諸設備ヲ

(3.1 續前)

一、大正三年三月二十八日事業經營ノ爲同社ノ發行スル社債ニ對シ現
 ニ政府ガ保證ヲ爲スモノ、外更ニ額面金額二千萬圓ノ元利支拂保
 證ノ募集外契約公布セラレタリ此種能ハ實行セラレズシテ止ミタ
 リ
 二、大正九年八月一日事業經營ノ爲同社ノ外國ニ於テ發行スル社債ニ
 對シ現ニ政府ガ保證ヲ爲スモノ、外更ニ額面金額一億圓ノ元利支
 拂保證ノ募集外契約公布セラレタリ第十九回外債四百萬圓ノ元利
 保證ハ此種能ニ基キタルモノナリ
 三、利益配當ニ付テ
 會社ノ利益ガ社債利子ヲ支拂ヒ尙剩餘アルトキハ該剩餘ハ總株式ノ各
 拂込高ニ對シ配當割合均一ニ至ル迄之ヲ日清兩國政府持株ニ配當スル
 コトノ條件ナリシヲ左ノ通追加改正ヲ加ヘタリ
 四、大正三年三月ニ至リ日支兩國政府持株ニ對スル利益配當ガ年二分
 ノ割合ニ達シタルトキハ株式ノ拂込金ニ對シ年二分ノ割合ヲ超エ
 サル範圍内ニ於テ第二配當ヲ爲シ得ルコトニ追加セラレタリ

三、利益配當ニ付テ

一、大正三年三月二十八日事業經營ノ爲同社ノ發行スル社債ニ對シ現
 ニ政府ガ保證ヲ爲スモノ、外更ニ額面金額二千萬圓ノ元利支拂保
 證ノ募集外契約公布セラレタリ此種能ハ實行セラレズシテ止ミタ
 リ
 二、大正九年八月一日事業經營ノ爲同社ノ外國ニ於テ發行スル社債ニ
 對シ現ニ政府ガ保證ヲ爲スモノ、外更ニ額面金額一億圓ノ元利支
 拂保證ノ募集外契約公布セラレタリ第十九回外債四百萬圓ノ元利
 保證ハ此種能ニ基キタルモノナリ
 三、利益配當ニ付テ
 會社ノ利益ガ社債利子ヲ支拂ヒ尙剩餘アルトキハ該剩餘ハ總株式ノ各
 拂込高ニ對シ配當割合均一ニ至ル迄之ヲ日清兩國政府持株ニ配當スル
 コトノ條件ナリシヲ左ノ通追加改正ヲ加ヘタリ
 四、大正三年三月ニ至リ日支兩國政府持株ニ對スル利益配當ガ年二分
 ノ割合ニ達シタルトキハ株式ノ拂込金ニ對シ年二分ノ割合ヲ超エ
 サル範圍内ニ於テ第二配當ヲ爲シ得ルコトニ追加セラレタリ

一、本銀行は、資本額二億圓を以て、明治三十三年三月二十六日、
 大蔵省の認可を受け、東京に設立せられたる。其の資本は、
 政府が二億圓を、民間が八千萬元を、それぞれ出資する。其の
 業務は、銀行業務、信託業務、及び、各種の金融業務を営む。

二、本銀行は、明治三十三年三月二十六日、大蔵省の認可を受け、
 東京に設立せられたる。其の資本は、政府が二億圓を、民間が
 八千萬元を、それぞれ出資する。其の業務は、銀行業務、信託
 業務、及び、各種の金融業務を営む。

三、本銀行は、明治三十三年三月二十六日、大蔵省の認可を受け、
 東京に設立せられたる。其の資本は、政府が二億圓を、民間が
 八千萬元を、それぞれ出資する。其の業務は、銀行業務、信託
 業務、及び、各種の金融業務を営む。

四、大正八年四月二日、前掲の銀行は、大蔵省の認可を受け、
 東京に設立せられたる。其の資本は、政府が二億圓を、民間が
 八千萬元を、それぞれ出資する。其の業務は、銀行業務、信託
 業務、及び、各種の金融業務を営む。

参 照

(一) 明治四十三年三月二十六日公布

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

南滿洲鐵道株式會社社債保題

南滿洲鐵道株式會社社債利益配當及社債利子ニ對スル補給並社債元利支拂

保題ニ關スル條件中第六號ヲ左ノ通變更ス

六 政府ニ於テ保題スヘキ社債ノ額面金額ハ資本總額ヲ超過セザルコ

ト

前項ニ依リ保題スル社債金額ハ借替ノ場合ヲ除クノ外其ノ都度帝

國議會ノ協賛ヲ經ルコトヲ要ス

(二) 明治四十三年三月二十六日公布

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

南滿洲鐵道株式會社ノ事業經營ノ爲發行スル社債ニ對シ現ニ政府カ保

題ヲ爲スモノノ外更ニ額面金額四千萬元ヲ限リ元利支拂ノ保題ヲ爲ス

コトヲ得

三 大正三年三月二十八日公布

南滿洲鐵道株式會社ニ對シ左ノ條件ニ依リ其ノ利益配當及社債利子ノ補給ヲ爲シ茲社債元利ノ支拂ヲ保證スルノ契約ヲ結フコトヲ得
 一 會社ハ明治三十八年十二月二十二日關印ノ滿洲ニ關スル日清條約附屬協約ニ依リ大連長春間、南關橫城間、大房身柳街屯間、大石橋營口間、煙臺煙臺及坑間、蘆家屯蘆家屯間及奉天安東縣間ノ鐵道運轉業並鐵道利益ノ爲領業殊ニ運轉及煙臺ノ炭坑採掘、水運業、電氣業、倉庫業、鐵道附屬地ニ於ケル土地及家屋ノ經營其ノ他政府ノ許可ヲ受ケタル業務ヲ營ミ且鐵道運轉業開始ノ日ヨリ

既現行滿鐵豫算外契約

豫算外關庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

(明治四十年二月二十二日公布)

南滿洲鐵道株式會社ニ對シ左ノ條件ニ依リ其ノ利益配當及社債利子ノ補給ヲ爲シ茲社債元利ノ支拂ヲ保證スルノ契約ヲ結フコトヲ得

- 一 會社ハ明治三十八年十二月二十二日關印ノ滿洲ニ關スル日清條約附屬協約ニ依リ大連長春間、南關橫城間、大房身柳街屯間、大石橋營口間、煙臺煙臺及坑間、蘆家屯蘆家屯間及奉天安東縣間ノ鐵道運轉業並鐵道利益ノ爲領業殊ニ運轉及煙臺ノ炭坑採掘、水運業、電氣業、倉庫業、鐵道附屬地ニ於ケル土地及家屋ノ經營其ノ他政府ノ許可ヲ受ケタル業務ヲ營ミ且鐵道運轉業開始ノ日ヨリ

四 該會資本實收額ハ其ノ所定額額定額主ノ額額金ニ對シテ六分ノ割合
 金ニ對シテ六分ノ割合ヲ以テ該會ノ利益額ナリトシテ土庫金額ノ額額金ノ
 三 該會ノ利益額ハ其ノ所定額額定額主ノ額額金ニ對シテ六分ノ割合
 一 (大正六八年一〇五)
 一 該會ノ利益額ハ其ノ所定額額定額主ノ額額金ニ對シテ六分ノ割合
 二 該會ノ利益額ハ其ノ所定額額定額主ノ額額金ニ對シテ六分ノ割合
 三 該會ノ利益額ハ其ノ所定額額定額主ノ額額金ニ對シテ六分ノ割合
 四 該會ノ利益額ハ其ノ所定額額定額主ノ額額金ニ對シテ六分ノ割合
 五 該會ノ利益額ハ其ノ所定額額定額主ノ額額金ニ對シテ六分ノ割合
 六 該會ノ利益額ハ其ノ所定額額定額主ノ額額金ニ對シテ六分ノ割合
 七 該會ノ利益額ハ其ノ所定額額定額主ノ額額金ニ對シテ六分ノ割合
 八 該會ノ利益額ハ其ノ所定額額定額主ノ額額金ニ對シテ六分ノ割合

五 鐵道ノ收帳又ハ附帶事業ノ經營ノ爲發行スル社債及該社債ヲ整理
 六 政府ニ於テ保證スヘキ社債ノ額面金額ハ資本總額ヲ超過セサルコ
 七 政府ニ於テ保證ノ社債ハ起債ノ年ヨリ二十五箇年以内ニ償還スル
 八 第五項ノ趣旨ニ依リ會社ノ發行スル社債ニ對シテハ其ノ拂込登記
 九 該會ノ利益額ハ其ノ所定額額定額主ノ額額金ニ對シテ六分ノ割合
 一〇 該會ノ利益額ハ其ノ所定額額定額主ノ額額金ニ對シテ六分ノ割合
 一一 該會ノ利益額ハ其ノ所定額額定額主ノ額額金ニ對シテ六分ノ割合
 一二 該會ノ利益額ハ其ノ所定額額定額主ノ額額金ニ對シテ六分ノ割合
 一三 該會ノ利益額ハ其ノ所定額額定額主ノ額額金ニ對シテ六分ノ割合
 一四 該會ノ利益額ハ其ノ所定額額定額主ノ額額金ニ對シテ六分ノ割合
 一五 該會ノ利益額ハ其ノ所定額額定額主ノ額額金ニ對シテ六分ノ割合
 一六 該會ノ利益額ハ其ノ所定額額定額主ノ額額金ニ對シテ六分ノ割合
 一七 該會ノ利益額ハ其ノ所定額額定額主ノ額額金ニ對シテ六分ノ割合
 一八 該會ノ利益額ハ其ノ所定額額定額主ノ額額金ニ對シテ六分ノ割合
 一九 該會ノ利益額ハ其ノ所定額額定額主ノ額額金ニ對シテ六分ノ割合
 二〇 該會ノ利益額ハ其ノ所定額額定額主ノ額額金ニ對シテ六分ノ割合

十 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二

第一、南滿洲鐵道株式會社ニ對シ其ノ利益配當及社債利子ノ補給、社債元利ノ支拂保證ノ契約ヲナス爲帝國議會ノ協贊ヲ經タルモノノ當初ノ文言ハ左ノ如シ

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件（明治四十年二月二十二日）

南滿洲鐵道株式會社ニ對シ左ノ條件ニ依リ其ノ利益配當及社債利子ノ補給ヲ爲シ該社債元利ノ支拂ヲ保證スルノ契約ヲ結フコトヲ得

一 會社ハ明治三十八年十二月二十二日調印ノ滿洲ニ關スル日清條約附屬協約ニ依リ大連長春間、南關嶺旅順間、大房身柳樹屯間、大石橋營口間、煙臺煙臺炭坑間、蘇家屯遼陽間及奉天安東驛間ノ鐵道運輸乘取鐵道便益ノ爲額乘取ニ應順及煙臺ノ炭坑採掘、水運業、電氣業、倉庫業、鐵道附屬地ニ於ケル土地及家屋ノ經營其ノ他政府ノ許可ヲ受ケタル業務ヲ營ミ且該鐵道ハ營業開始ノ日ヨリ三箇年内ニ四呎八吋半ノ軌道ニ改築シ大連長春間ノ内大連蘇家屯間ヲ複線ト爲シ又沿道主要ノ停車場ニ旅客ノ宿泊食事及貨物ノ貯藏ニ必要ナル施設備フ

十二、會社ハ其ノ利益及ハ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件（明治四十年二月二十二日）

南滿洲鐵道株式會社ニ對シ其ノ利益配當及社債利子ノ補給、社債元利ノ支拂保證ノ契約ヲナス爲帝國議會ノ協贊ヲ經タルモノノ當初ノ文言ハ左ノ如シ

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件（明治四十年二月二十二日）

南滿洲鐵道株式會社ニ對シ左ノ條件ニ依リ其ノ利益配當及社債利子ノ補給ヲ爲シ該社債元利ノ支拂ヲ保證スルノ契約ヲ結フコトヲ得

一 會社ハ明治三十八年十二月二十二日調印ノ滿洲ニ關スル日清條約附屬協約ニ依リ大連長春間、南關嶺旅順間、大房身柳樹屯間、大石橋營口間、煙臺煙臺炭坑間、蘇家屯遼陽間及奉天安東驛間ノ鐵道運輸乘取鐵道便益ノ爲額乘取ニ應順及煙臺ノ炭坑採掘、水運業、電氣業、倉庫業、鐵道附屬地ニ於ケル土地及家屋ノ經營其ノ他政府ノ許可ヲ受ケタル業務ヲ營ミ且該鐵道ハ營業開始ノ日ヨリ三箇年内ニ四呎八吋半ノ軌道ニ改築シ大連長春間ノ内大連蘇家屯間ヲ複線ト爲シ又沿道主要ノ停車場ニ旅客ノ宿泊食事及貨物ノ貯藏ニ必要ナル施設備フ

一 爲シ線路ノ港灣ニ達スル地點ニ於テ水陸運輸ノ連絡ニ必要ナル設備ヲ爲スコト
 二 資本總額ハ二億圓トシ毎營業年度ニ於ケル利益配當カ日清兩國政府以外ノ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ニ達セサルトキハ政府ハ設立並配ノ日ヨリ起算シ十五箇年間ヲ限り之ヲ補給スルコト
 三 利子補給額ハ如何ナル場合ト雖モ日清兩國政府以外ノ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ヲ超過セサルコト
 四 毎營業年度ニ於ケル利益配當カ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ヲ超過セサルトキハ政府ノ持株ニ對シ配當ヲ爲スヲ要セサルコト
 五 鐵道ノ改良又ハ附帶事業ノ經營ノ爲發行スル社債及該社債ヲ整理償還スル爲發行スル社債ニ對シ政府ハ其ノ利子支拂ノ保證ヲ爲シ仍必要アラハ元金支拂ノ保證ヲ爲スコトアルヘキコト
 六 政府ニ於テ保證スヘキ社債ノ額面金額ハ常ニ政府ニ屬セサル株式總額中ヨリ其拂込金額ヲ控除シタル殘額ヲ超過セサルコト
 七 政府ニ於テ保證ノ社債ハ起債ノ年ヨリ二十五箇年以内ニ償還スルコト

一 爲シ線路ノ港灣ニ達スル地點ニ於テ水陸運輸ノ連絡ニ必要ナル設備ヲ爲スコト
 二 資本總額ハ二億圓トシ毎營業年度ニ於ケル利益配當カ日清兩國政府以外ノ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ニ達セサルトキハ政府ハ設立並配ノ日ヨリ起算シ十五箇年間ヲ限り之ヲ補給スルコト
 三 利子補給額ハ如何ナル場合ト雖モ日清兩國政府以外ノ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ヲ超過セサルコト
 四 毎營業年度ニ於ケル利益配當カ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ヲ超過セサルトキハ政府ノ持株ニ對シ配當ヲ爲スヲ要セサルコト
 五 鐵道ノ改良又ハ附帶事業ノ經營ノ爲發行スル社債及該社債ヲ整理償還スル爲發行スル社債ニ對シ政府ハ其ノ利子支拂ノ保證ヲ爲シ仍必要アラハ元金支拂ノ保證ヲ爲スコトアルヘキコト
 六 政府ニ於テ保證スヘキ社債ノ額面金額ハ常ニ政府ニ屬セサル株式總額中ヨリ其拂込金額ヲ控除シタル殘額ヲ超過セサルコト
 七 政府ニ於テ保證ノ社債ハ起債ノ年ヨリ二十五箇年以内ニ償還スルコト

十 過剰ニ成リ得ルノ利益ハ該社ノ利益ノ二十正額平均内ニ付還スルニ
 應中口利其利及金銀ノ利息等ハ該社ノ利益ノ内ニ算入スルコト
 六 過剰ニ成リ得ルノ利益ハ該社ノ利益ノ内ニ算入スルコト
 五 過剰ニ成リ得ルノ利益ハ該社ノ利益ノ内ニ算入スルコト
 四 過剰ニ成リ得ルノ利益ハ該社ノ利益ノ内ニ算入スルコト
 三 過剰ニ成リ得ルノ利益ハ該社ノ利益ノ内ニ算入スルコト
 二 過剰ニ成リ得ルノ利益ハ該社ノ利益ノ内ニ算入スルコト
 一 過剰ニ成リ得ルノ利益ハ該社ノ利益ノ内ニ算入スルコト

- ト
- 八 第五項ノ趣旨ニ依リ會社ノ發行スル社債ニ對シテハ其ノ拂込金配ノ
 翌月ヨリ政府ハ其ノ社債ノ利子ニ相當スル金額ヲ補助スルコト
 - 九 株主ノ拂込金ニ對スル利益配當年六分ノ割合ヲ超過スルニ至リタル
 トキハ其ノ超過ノ金額ハ先ツ社債ノ利子ニ充當スルコト此ノ場合ニ
 於テハ前項補助金ハ該充當額ヲ控除シテ下付スルコト
 - 十 會社ノ利益カ前項社債利子ヲ支拂ヒ尚ホ剩餘アルトキハ該剩餘ハ該
 株式ノ各拂込高ニ對シ配當割合均一ニ至ルマテ之ヲ日清兩國政府特
 殊ニ配當スルコト
 - 十一 第二項及第八項ニ規定シタル政府ノ補助金ハ之ニ年六分ノ割合ノ
 利子ヲ付シ之ヲ毎年元金ニ加算シ政府ニ對スル會社ノ債務トスルコ
 ト
 - 十二 會社ノ總株式ニ對スル利益配當力年一割ヲ超過スルニ至リタルト
 キハ其ノ超過額ハ前項債務ノ償還ニ充ツルコト

十一 前記第三條第八項に規定する為替ノ準備金ハ其ノ額及本邦ノ銀行ノ準備金ノ額ニ比シテ少クハならざらばならず

十二 前記第三條第八項に規定する為替ノ準備金ハ其ノ額及本邦ノ銀行ノ準備金ノ額ニ比シテ少クハならざらばならず

十三 前記第三條第八項に規定する為替ノ準備金ハ其ノ額及本邦ノ銀行ノ準備金ノ額ニ比シテ少クハならざらばならず

十四 前記第三條第八項に規定する為替ノ準備金ハ其ノ額及本邦ノ銀行ノ準備金ノ額ニ比シテ少クハならざらばならず

十五 前記第三條第八項に規定する為替ノ準備金ハ其ノ額及本邦ノ銀行ノ準備金ノ額ニ比シテ少クハならざらばならず

十六 前記第三條第八項に規定する為替ノ準備金ハ其ノ額及本邦ノ銀行ノ準備金ノ額ニ比シテ少クハならざらばならず

十七 前記第三條第八項に規定する為替ノ準備金ハ其ノ額及本邦ノ銀行ノ準備金ノ額ニ比シテ少クハならざらばならず

十八 前記第三條第八項に規定する為替ノ準備金ハ其ノ額及本邦ノ銀行ノ準備金ノ額ニ比シテ少クハならざらばならず

十九 前記第三條第八項に規定する為替ノ準備金ハ其ノ額及本邦ノ銀行ノ準備金ノ額ニ比シテ少クハならざらばならず

二十 前記第三條第八項に規定する為替ノ準備金ハ其ノ額及本邦ノ銀行ノ準備金ノ額ニ比シテ少クハならざらばならず

第二、右計算外契約ノ件中改正ヲ爲シタル條項ノ沿革ヲ明ニスレバ左ノ如シ

一、資本總額ハ四億四千万圓（二億圓）トシ毎營業年度ニ於ケル利益配當

カ日清兩國政府以外ノ株主ノ拂込金ニ對シ年六分ノ割合ニ送ヤサルトキハ政府ハ設立登記ノ日ヨリ起算シ十五年ヲ限り之ヲ補給スルコト

（大正九年八月一日改正）

六政府ニ於テ保證スヘキ社債ノ額面金額ハ資本總額ヲ超過ヤサルコト

常ニ政府ニ屬ヤサル株式總額中ヨリ其拂込金額ヲ控除シタル殘額ヲ超過ヤサルコト

（明治四十三年三月改正）

前項ニ依リ保證スル社債金額ハ借借ノ場合ヲ除クノ外其ノ都度帝國議會ノ協賛ヲ經ルコトヲ要ス

（明治四十三年三月改正）

十會社ノ利益カ前項社債利子ヲ支拂ヒ尙剩餘アルトキハ該殘額ハ該株式ノ各拂込高ニ對シ配當割合均一ニ至ルマテ之ヲ日清兩國政府持株ニ配當スルコト但シ日支兩國政府持株ニ對スル利益配當力年四分三厘（三分五厘）大正九年八月二分大正八年四月一日改正）ノ割合ニ送シタルトキハ株主ノ拂

大正三年三月二十五日
 大正三年三月二十七日
 大正三年三月二十八日
 大正三年三月二十九日
 大正三年三月三十日
 大正三年三月三十一日
 大正三年四月一日
 大正三年四月二日
 大正三年四月三日
 大正三年四月四日
 大正三年四月五日
 大正三年四月六日
 大正三年四月七日
 大正三年四月八日
 大正三年四月九日
 大正三年四月十日
 大正三年四月十一日
 大正三年四月十二日
 大正三年四月十三日
 大正三年四月十四日
 大正三年四月十五日
 大正三年四月十六日
 大正三年四月十七日
 大正三年四月十八日
 大正三年四月十九日
 大正三年四月二十日
 大正三年四月二十一日
 大正三年四月二十二日
 大正三年四月二十三日
 大正三年四月二十四日
 大正三年四月二十五日
 大正三年四月二十六日
 大正三年四月二十七日
 大正三年四月二十八日
 大正三年四月二十九日
 大正三年四月三十日
 大正三年五月一日
 大正三年五月二日
 大正三年五月三日
 大正三年五月四日
 大正三年五月五日
 大正三年五月六日
 大正三年五月七日
 大正三年五月八日
 大正三年五月九日
 大正三年五月十日
 大正三年五月十一日
 大正三年五月十二日
 大正三年五月十三日
 大正三年五月十四日
 大正三年五月十五日
 大正三年五月十六日
 大正三年五月十七日
 大正三年五月十八日
 大正三年五月十九日
 大正三年五月二十日
 大正三年五月二十一日
 大正三年五月二十二日
 大正三年五月二十三日
 大正三年五月二十四日
 大正三年五月二十五日
 大正三年五月二十六日
 大正三年五月二十七日
 大正三年五月二十八日
 大正三年五月二十九日
 大正三年五月三十日
 大正三年六月一日
 大正三年六月二日
 大正三年六月三日
 大正三年六月四日
 大正三年六月五日
 大正三年六月六日
 大正三年六月七日
 大正三年六月八日
 大正三年六月九日
 大正三年六月十日
 大正三年六月十一日
 大正三年六月十二日
 大正三年六月十三日
 大正三年六月十四日
 大正三年六月十五日
 大正三年六月十六日
 大正三年六月十七日
 大正三年六月十八日
 大正三年六月十九日
 大正三年六月二十日
 大正三年六月二十一日
 大正三年六月二十二日
 大正三年六月二十三日
 大正三年六月二十四日
 大正三年六月二十五日
 大正三年六月二十六日
 大正三年六月二十七日
 大正三年六月二十八日
 大正三年六月二十九日
 大正三年六月三十日
 大正三年七月一日
 大正三年七月二日
 大正三年七月三日
 大正三年七月四日
 大正三年七月五日
 大正三年七月六日
 大正三年七月七日
 大正三年七月八日
 大正三年七月九日
 大正三年七月十日
 大正三年七月十一日
 大正三年七月十二日
 大正三年七月十三日
 大正三年七月十四日
 大正三年七月十五日
 大正三年七月十六日
 大正三年七月十七日
 大正三年七月十八日
 大正三年七月十九日
 大正三年七月二十日
 大正三年七月二十一日
 大正三年七月二十二日
 大正三年七月二十三日
 大正三年七月二十四日
 大正三年七月二十五日
 大正三年七月二十六日
 大正三年七月二十七日
 大正三年七月二十八日
 大正三年七月二十九日
 大正三年七月三十日
 大正三年八月一日
 大正三年八月二日
 大正三年八月三日
 大正三年八月四日
 大正三年八月五日
 大正三年八月六日
 大正三年八月七日
 大正三年八月八日
 大正三年八月九日
 大正三年八月十日
 大正三年八月十一日
 大正三年八月十二日
 大正三年八月十三日
 大正三年八月十四日
 大正三年八月十五日
 大正三年八月十六日
 大正三年八月十七日
 大正三年八月十八日
 大正三年八月十九日
 大正三年八月二十日
 大正三年八月二十一日
 大正三年八月二十二日
 大正三年八月二十三日
 大正三年八月二十四日
 大正三年八月二十五日
 大正三年八月二十六日
 大正三年八月二十七日
 大正三年八月二十八日
 大正三年八月二十九日
 大正三年八月三十日
 大正三年九月一日
 大正三年九月二日
 大正三年九月三日
 大正三年九月四日
 大正三年九月五日
 大正三年九月六日
 大正三年九月七日
 大正三年九月八日
 大正三年九月九日
 大正三年九月十日
 大正三年九月十一日
 大正三年九月十二日
 大正三年九月十三日
 大正三年九月十四日
 大正三年九月十五日
 大正三年九月十六日
 大正三年九月十七日
 大正三年九月十八日
 大正三年九月十九日
 大正三年九月二十日
 大正三年九月二十一日
 大正三年九月二十二日
 大正三年九月二十三日
 大正三年九月二十四日
 大正三年九月二十五日
 大正三年九月二十六日
 大正三年九月二十七日
 大正三年九月二十八日
 大正三年九月二十九日
 大正三年九月三十日
 大正三年十月一日
 大正三年十月二日
 大正三年十月三日
 大正三年十月四日
 大正三年十月五日
 大正三年十月六日
 大正三年十月七日
 大正三年十月八日
 大正三年十月九日
 大正三年十月十日
 大正三年十月十一日
 大正三年十月十二日
 大正三年十月十三日
 大正三年十月十四日
 大正三年十月十五日
 大正三年十月十六日
 大正三年十月十七日
 大正三年十月十八日
 大正三年十月十九日
 大正三年十月二十日
 大正三年十月二十一日
 大正三年十月二十二日
 大正三年十月二十三日
 大正三年十月二十四日
 大正三年十月二十五日
 大正三年十月二十六日
 大正三年十月二十七日
 大正三年十月二十八日
 大正三年十月二十九日
 大正三年十月三十日
 大正三年十一月一日
 大正三年十一月二日
 大正三年十一月三日
 大正三年十一月四日
 大正三年十一月五日
 大正三年十一月六日
 大正三年十一月七日
 大正三年十一月八日
 大正三年十一月九日
 大正三年十一月十日
 大正三年十一月十一日
 大正三年十一月十二日
 大正三年十一月十三日
 大正三年十一月十四日
 大正三年十一月十五日
 大正三年十一月十六日
 大正三年十一月十七日
 大正三年十一月十八日
 大正三年十一月十九日
 大正三年十一月二十日
 大正三年十一月二十一日
 大正三年十一月二十二日
 大正三年十一月二十三日
 大正三年十一月二十四日
 大正三年十一月二十五日
 大正三年十一月二十六日
 大正三年十一月二十七日
 大正三年十一月二十八日
 大正三年十一月二十九日
 大正三年十一月三十日
 大正三年十二月一日
 大正三年十二月二日
 大正三年十二月三日
 大正三年十二月四日
 大正三年十二月五日
 大正三年十二月六日
 大正三年十二月七日
 大正三年十二月八日
 大正三年十二月九日
 大正三年十二月十日
 大正三年十二月十一日
 大正三年十二月十二日
 大正三年十二月十三日
 大正三年十二月十四日
 大正三年十二月十五日
 大正三年十二月十六日
 大正三年十二月十七日
 大正三年十二月十八日
 大正三年十二月十九日
 大正三年十二月二十日
 大正三年十二月二十一日
 大正三年十二月二十二日
 大正三年十二月二十三日
 大正三年十二月二十四日
 大正三年十二月二十五日
 大正三年十二月二十六日
 大正三年十二月二十七日
 大正三年十二月二十八日
 大正三年十二月二十九日
 大正三年十二月三十日

第三、右改正ノ議會ノ協賛ヲ受ケタル正文ヲ掲グルコト次ノ如シ

(一) 明治四十三年三月二十五日

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

南滿洲鐵道株式會社社債保證

南滿洲鐵道株式會社社債利益配當及社債利子ニ對スル福給並社債元利支

拂保證ニ關スル條件中第六號ヲ左ノ通變更ス

六 政府ニ於テ保證スヘキ社債ノ額面金額ハ資本總額ヲ超過セザル

コト

前項ニ依リ保證スル社債金額ハ借替ノ場合ヲ除クノ外其ノ都度

帝國議會ノ協賛ヲ經ルコトヲ要ス

(二) 大正三年三月二十七日

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

南滿洲鐵道株式會社社債利益配當

南滿洲鐵道株式會社社債利益配當及社債利子福給並社債元利支拂保證ニ

關シ義ニ帝國議會ノ協賛ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約

南滿洲鐵道株式會社利益配當
南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ
關シ後ニ帝國議會ノ協賛ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約
ヲ爲スヲ要スル件中第十項但書ヲ左ノ通改定ス
但日支兩國政府持株ニ對スル利益配當カ年三分五厘ノ割合ニ定シ

大正八年四月四日

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
南滿洲鐵道株式會社利益配當
南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ
關シ後ニ帝國議會ノ協賛ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約
ヲ爲スヲ要スル件中第十項但書ヲ左ノ通改定ス
但日支兩國政府持株ニ對スル利益配當カ年三分五厘ノ割合ニ定シ

南滿洲鐵道株式會社利益配當
南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ
關シ後ニ帝國議會ノ協賛ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約
ヲ爲スヲ要スル件中第十項但書ヲ左ノ通改定ス
但日支兩國政府持株ニ對スル利益配當カ年三分五厘ノ割合ニ定シ

南滿洲鐵道株式會社利益配當
南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ
關シ後ニ帝國議會ノ協賛ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約
ヲ爲スヲ要スル件中第十項但書ヲ左ノ通改定ス
但日支兩國政府持株ニ對スル利益配當カ年三分五厘ノ割合ニ定シ

南滿洲鐵道株式會社利益配當
南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ
關シ後ニ帝國議會ノ協賛ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約
ヲ爲スヲ要スル件中第十項但書ヲ左ノ通改定ス
但日支兩國政府持株ニ對スル利益配當カ年三分五厘ノ割合ニ定シ

ヲ爲スヲ要スル件中第十項ニ左ノ但書ヲ追加ス

但日支兩國政府持株ニ對スル利益配當カ年二分ノ割合ニ定シタル
トキハ株主ノ拂込金ニ對シ年二分ノ割合ヲ超エサル範圍内ニ於テ
更ニ第二配當ヲ爲スコトヲ妨ケス

南滿洲鐵道株式會社社債保證

南滿洲鐵道株式會社ノ事業經營ノ爲發行スル社債ニ對シ現ニ政府カ
保證ヲ爲スモノノ外更ニ額面金額貳千萬圓ヲ限り元利支拂ノ保證ヲ
爲スコトヲ得

大正八年四月四日

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
南滿洲鐵道株式會社利益配當

南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ
關シ後ニ帝國議會ノ協賛ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約
ヲ爲スヲ要スル件中第十項但書ヲ左ノ通改定ス
但日支兩國政府持株ニ對スル利益配當カ年三分五厘ノ割合ニ定シ

南滿洲鐵道株式會社利益配當
 於テ更ニ第二配當ヲ爲スコトヲ訪ケス
 大正九年八月一日
 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
 南滿洲鐵道株式會社利益配當
 南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ
 關シ義ニ帝國議會ノ協贊ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約
 ヲ爲スヲ要スル件中左ノ通改定ス
 第二項中「貳億圓」ヲ「四億四千萬圓」ニ改ム
 第十項中「三分五厘」ヲ「四分三厘」ニ改ム
 南滿洲鐵道株式會社社債保證
 南滿洲鐵道株式會社ノ事業經營ノ爲外國ニ於テ募集スル社債ニ對シ
 現ニ政府カ保證ヲ爲スモノノ外額面金額壹億圓ヲ限リ元利支拂ノ保
 證ヲ爲スコトヲ得

南滿洲鐵道株式會社利益配當
 於テ更ニ第二配當ヲ爲スコトヲ訪ケス
 大正九年八月一日
 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
 南滿洲鐵道株式會社利益配當
 南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ
 關シ義ニ帝國議會ノ協贊ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約
 ヲ爲スヲ要スル件中左ノ通改定ス
 第二項中「貳億圓」ヲ「四億四千萬圓」ニ改ム
 第十項中「三分五厘」ヲ「四分三厘」ニ改ム
 南滿洲鐵道株式會社社債保證
 南滿洲鐵道株式會社ノ事業經營ノ爲外國ニ於テ募集スル社債ニ對シ
 現ニ政府カ保證ヲ爲スモノノ外額面金額壹億圓ヲ限リ元利支拂ノ保
 證ヲ爲スコトヲ得

明治四十年二月二十一日公布豫算外國庫
ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スノ件

一、本文中「利益配當及社債利子ノ補給ヲ爲シ茲」ヲ削ル
理由 一般株主ニ對スル配當保證ハ設立登記ノ日ヨリ十五年ヲ限ルモノナルヲ以テ今日ニ於テハ最早自然消滅セルモノナリ

二、第二項削除
理由 右二項共一般株主ニ對スル配當保證ハ設立登記ノ日ヨリ十五年ヲ限ルモノナルヲ以テ今日ニ於テハ最早自然消滅セルモノナリ

三、第三項削除
理由 會社ノ配當カ年六分ノ割合ヲ超過スルコトニツキ危惧ナキ限リ本項ノ必要ナク而カモ其ノ結果トシテ種々ノ束縛制限ヲ伴フモノナルヲ以テ之ヲ削除セムトス

四、第四項削除
理由 會社ノ配當カ年六分ノ割合ヲ超過スルコトニツキ危惧ナキ限リ本項ノ必要ナク而カモ其ノ結果トシテ種々ノ束縛制限ヲ伴フモノナルヲ以テ之ヲ削除セムトス

明治四十年二月二十一日公布豫算外國庫
ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スノ件

一、本文中「利益配當及社債利子ノ補給ヲ爲シ茲」ヲ削ル
理由 一般株主ニ對スル配當保證ハ設立登記ノ日ヨリ十五年ヲ限ルモノナルヲ以テ今日ニ於テハ最早自然消滅セルモノナリ

二、第二項削除
理由 右二項共一般株主ニ對スル配當保證ハ設立登記ノ日ヨリ十五年ヲ限ルモノナルヲ以テ今日ニ於テハ最早自然消滅セルモノナリ

三、第三項削除
理由 會社ノ配當カ年六分ノ割合ヲ超過スルコトニツキ危惧ナキ限リ本項ノ必要ナク而カモ其ノ結果トシテ種々ノ束縛制限ヲ伴フモノナルヲ以テ之ヲ削除セムトス

四、第四項削除
理由 會社ノ配當カ年六分ノ割合ヲ超過スルコトニツキ危惧ナキ限リ本項ノ必要ナク而カモ其ノ結果トシテ種々ノ束縛制限ヲ伴フモノナルヲ以テ之ヲ削除セムトス

第一案 滿鐵利益配當率増加ニ關スル案
 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
 南滿洲鐵道株式會社利益配當
 南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關
 シ義ニ帝國議會ノ協贊ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲
 スヲ要スル件中第十項但書ヲ左ノ通改定ス
 但日支兩國政府持株ニ對スル利益配當力年四分三厘乃至七分ノ割合ニ
 達シタルトキハ株主ノ拂込金ニ對シ年四分乃至六分ノ範圍内ニ於テ更
 ニ政府ノ定ムル割合ノ第二配當ヲ爲スコトヲ妨ケス
 說明。政府、民間株式ニ對シ平等配當ノ精神ハ形式上ニ於テモ之ヲ
 維持スルノ必要アルノミナラス命令書第十五條第二項ノ規定
 ニ之ヲ見ルモ又過去ノ實績ニ徴スルモ其必要アル所ナリ。而
 シテ政府配當四分三厘以上トナレハ總テ之ヲ政府ノミニ増配
 スルコトトナスハ事情ニ適セサルモノアルヲ以テ其增加率ニ

第一案 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
 南滿洲鐵道株式會社利益配當
 南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關
 シ義ニ帝國議會ノ協贊ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲
 スヲ要スル件中第十項但書ヲ左ノ通改定ス
 但日支兩國政府持株ニ對スル利益配當力年四分三厘乃至七分ノ割合ニ
 達シタルトキハ株主ノ拂込金ニ對シ年四分乃至六分ノ範圍内ニ於テ更
 ニ政府ノ定ムル割合ノ第二配當ヲ爲スコトヲ妨ケス
 說明。政府、民間株式ニ對シ平等配當ノ精神ハ形式上ニ於テモ之ヲ
 維持スルノ必要アルノミナラス命令書第十五條第二項ノ規定
 ニ之ヲ見ルモ又過去ノ實績ニ徴スルモ其必要アル所ナリ。而
 シテ政府配當四分三厘以上トナレハ總テ之ヲ政府ノミニ増配
 スルコトトナスハ事情ニ適セサルモノアルヲ以テ其增加率ニ

第一案 株式會社ニ對シテ三厘以上ノ利益配當カ年四分三厘ノ割合ニ達シタル
 時ニ至ルハ其後ノ利益配當ハ其前ノ利益配當ノ割合ニ依リテ算出スルコトナリ
 第二案 株式會社ニ對シテ三厘以上ノ利益配當カ年四分三厘ノ割合ニ達シタル
 時ニ至ルハ其後ノ利益配當ハ其前ノ利益配當ノ割合ニ依リテ算出スルコトナリ
 第三案 株式會社ニ對シテ三厘以上ノ利益配當カ年四分三厘ノ割合ニ達シタル
 時ニ至ルハ其後ノ利益配當ハ其前ノ利益配當ノ割合ニ依リテ算出スルコトナリ
 第四案 株式會社ニ對シテ三厘以上ノ利益配當カ年四分三厘ノ割合ニ達シタル
 時ニ至ルハ其後ノ利益配當ハ其前ノ利益配當ノ割合ニ依リテ算出スルコトナリ
 第五案 株式會社ニ對シテ三厘以上ノ利益配當カ年四分三厘ノ割合ニ達シタル
 時ニ至ルハ其後ノ利益配當ハ其前ノ利益配當ノ割合ニ依リテ算出スルコトナリ
 第六案 株式會社ニ對シテ三厘以上ノ利益配當カ年四分三厘ノ割合ニ達シタル
 時ニ至ルハ其後ノ利益配當ハ其前ノ利益配當ノ割合ニ依リテ算出スルコトナリ
 第七案 株式會社ニ對シテ三厘以上ノ利益配當カ年四分三厘ノ割合ニ達シタル
 時ニ至ルハ其後ノ利益配當ハ其前ノ利益配當ノ割合ニ依リテ算出スルコトナリ
 第八案 株式會社ニ對シテ三厘以上ノ利益配當カ年四分三厘ノ割合ニ達シタル
 時ニ至ルハ其後ノ利益配當ハ其前ノ利益配當ノ割合ニ依リテ算出スルコトナリ
 第九案 株式會社ニ對シテ三厘以上ノ利益配當カ年四分三厘ノ割合ニ達シタル
 時ニ至ルハ其後ノ利益配當ハ其前ノ利益配當ノ割合ニ依リテ算出スルコトナリ
 第十案 株式會社ニ對シテ三厘以上ノ利益配當カ年四分三厘ノ割合ニ達シタル
 時ニ至ルハ其後ノ利益配當ハ其前ノ利益配當ノ割合ニ依リテ算出スルコトナリ

大藏省

第二案
 但シ日支兩國政府持株ニ對スル利益配當カ年四分三厘ノ割合ニ達シタル
 トキハ株主ノ拂込金ニ對シテ年四分ノ割合ヲ超エサル範圍内ニ於テ又年四
 分三厘以上ノ割合ニ達シタルトキハ株主ノ拂込金ニ對シテ政府ノ定ムル割
 合ニ於テ更ニ第二配當ヲ爲スコトヲ妨ケス

第二案 豫算外契約第十項但書ヲ左ノ如ク改ムル案

但シ日支兩國政府持株ニ對スル利益配當カ年四分三厘ノ割合ニ達シタル
 トキハ株主ノ拂込金ニ對シテ年四分ノ割合ヲ超エサル範圍内ニ於テ又年四
 分三厘以上ノ割合ニ達シタルトキハ株主ノ拂込金ニ對シテ政府ノ定ムル割
 合ニ於テ更ニ第二配當ヲ爲スコトヲ妨ケス
 説明。本案ト第一案トノ差ハ政府四分三厘以上ノ配當ノ場合ニ於ケル
 民間第二配當ヲ政府ニ於テ任意ニ定メ得ルモノトナシタル點ニ
 在リ

大藏省

第三案 現在ノ繰算外契約中社債元利拂ノ保證ノ缺點ノミヲ存シ他ハ之ヲ
 削除スルノ協賛ヲ求メ増配ハ命令書ヲ以テスルノ案

說明。社債元利拂ノ支拂保證ト他トハ相輔聯セサルモノトシ、
 社債元利拂ノ支拂保證ノミヲ存置シ、他ハ之ヲ削除スレ
 ハ命令書ヲ以テ自由ニ定メ得ルトノ説ニ基ク

第三案 現在ノ繰算外契約中社債元利拂ノ保證ノ缺點ノミヲ存シ他ハ之ヲ
 削除スルノ協賛ヲ求メ増配ハ命令書ヲ以テスルノ案

說明。社債元利拂ノ支拂保證ト他トハ相輔聯セサルモノトシ、
 社債元利拂ノ支拂保證ノミヲ存置シ、他ハ之ヲ削除スレ
 ハ命令書ヲ以テ自由ニ定メ得ルトノ説ニ基ク

社債元利拂ノ支拂保證ノミヲ存置シ、他ハ之ヲ削除スレハ命令書ヲ以テ自由ニ定メ得ルトノ説ニ基ク

第三案 現在ノ豫算外契約ヲ其儘トナシ置キ命令書ノ増配ノ規定ノミヲ改
 正スル案
 説明・利益配當ノ保証ニ關スル限り本豫算外契約ハ其目的ヲ失
 ヒ居ルモノナルヲ以テ之ニ拘束セラル、ノ必要ナク命令
 書ヲ以テ適宜改メ得ルトノ説ニ蓋ク

第四案 現在ノ豫算外契約ヲ其儘トナシ置キ命令書ノ増配ノ規定ノミヲ改
 正スル案

説明・利益配當ノ保証ニ關スル限り本豫算外契約ハ其目的ヲ失
 ヒ居ルモノナルヲ以テ之ニ拘束セラル、ノ必要ナク命令
 書ヲ以テ適宜改メ得ルトノ説ニ蓋ク

南滿洲鐵道株式會社ニ對スル豫算外契約ノ沿革
 第一、當初ノ文書
 南滿洲鐵道株式會社ニ對シ其ノ利益配當及社債利子ノ補給、社債元利ノ
 支拂保證ノ契約ヲ爲ス爲帝國議會ノ協贊ヲ經タルモノ左ノ如シ
 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件（明治四十年二月二十一日）
 南滿洲鐵道株式會社ニ對シ左ノ條件ニ依リ其ノ利益配當及社債利子ノ補給
 ヲ爲シ茲社債元利ノ支拂ヲ保證スルノ契約ヲ結フコトヲ得
 一 會社ハ明治三十八年十二月二十二日調印ノ滿洲ニ關スル日清條約附
 屬協約ニ依リ大連長春間、南滿鐵道、大房身柳河屯間、大石橋
 營口間、煙臺煙臺炭坑間、蘇家屯通順間及奉天安東縣間ノ鐵道運輸
 乘込鐵道便益ノ爲鐵道乘込ニ盡順及煙臺ノ炭坑採掘、水運業、電氣業、
 倉庫業、鐵道附屬地ニ於ケル土地及家屋ノ經營其ノ他政府ノ許可ヲ
 受ケタル業務ヲ營ミ且該鐵道ハ營業開始ノ日ヨリ三箇年內ニ四呎八
 吋半ノ軌道ニ改築シ大連長春間ノ內大連蘇家屯間ヲ複線ト爲シ又沿
 道主要ノ停車場ニ旅客ノ宿泊食事及貨物ノ貯蔵ニ必要ナル諸設備ヲ

(附圖 1.)

南滿洲鐵道株式會社ニ對スル豫算外契約ノ沿革

第一、當初ノ文書

南滿洲鐵道株式會社ニ對シ其ノ利益配當及社債利子ノ補給、社債元利ノ
 支拂保證ノ契約ヲ爲ス爲帝國議會ノ協贊ヲ經タルモノ左ノ如シ
 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件（明治四十年二月二十一日）
 南滿洲鐵道株式會社ニ對シ左ノ條件ニ依リ其ノ利益配當及社債利子ノ補給
 ヲ爲シ茲社債元利ノ支拂ヲ保證スルノ契約ヲ結フコトヲ得

一 會社ハ明治三十八年十二月二十二日調印ノ滿洲ニ關スル日清條約附

屬協約ニ依リ大連長春間、南滿鐵道、大房身柳河屯間、大石橋
 營口間、煙臺煙臺炭坑間、蘇家屯通順間及奉天安東縣間ノ鐵道運輸
 乘込鐵道便益ノ爲鐵道乘込ニ盡順及煙臺ノ炭坑採掘、水運業、電氣業、
 倉庫業、鐵道附屬地ニ於ケル土地及家屋ノ經營其ノ他政府ノ許可ヲ
 受ケタル業務ヲ營ミ且該鐵道ハ營業開始ノ日ヨリ三箇年內ニ四呎八
 吋半ノ軌道ニ改築シ大連長春間ノ內大連蘇家屯間ヲ複線ト爲シ又沿
 道主要ノ停車場ニ旅客ノ宿泊食事及貨物ノ貯蔵ニ必要ナル諸設備ヲ

中...
 一、大正八年四月...
 二、其受、取...

(四) 大正三年三月二十八日事業經營ノ爲同社ノ發行スル社債ニ對シ現
 ニ政府ガ保證ヲ爲スモノ、外更ニ額面金額二千萬圓ノ元利支拂保
 證ノ豫算外契約公布セラレタリ此種能ハ實行セラレズニ止マタリ
 (ハ) 大正九年八月一日事業經營ノ爲同社ノ外國ニ於テ發行スル社債ニ
 對シ現ニ政府ガ保證ヲ爲スモノ、外更ニ額面金額一億圓ノ元利支
 拂保證ノ豫算外契約公布セラレタリ第十九回外債圓百萬圓ノ元利
 保證ハ此種能ニ基キタルモノナリ

三、利益配當ニ付テ

會社ノ利益ガ社債利子ヲ支拂ヒ尙剩餘アルトキハ該種債ハ總株式ノ各
 持込高ニ對シ配當割合均一ニ至ル迄之ヲ日清兩國政府持株ニ配當スル
 コトノ條件ナリシヲ左ノ通追加改正ヲ加ヘタリ
 (ハ) 大正三年三月ニ至リ日支兩國政府持株ニ對スル利益配當ガ年二分
 ノ割合ニ進シタルトキハ株式ノ持込金ニ對シ年二分ノ割合ヲ超エ
 サル範圍内ニ於テ第二配當ヲ爲シ得ルコトニ追加セラレタリ
 (四) 大正八年四月ニ至リ前項第二配當割合ヲ増加改訂シテ日支兩國政

同式五八等其... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十... 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十... 二十一... 二十二... 二十三... 二十四... 二十五... 二十六... 二十七... 二十八... 二十九... 三十... 三十一... 三十二... 三十三... 三十四... 三十五... 三十六... 三十七... 三十八... 三十九... 四十... 四十一... 四十二... 四十三... 四十四... 四十五... 四十六... 四十七... 四十八... 四十九... 五十... 五十一... 五十二... 五十三... 五十四... 五十五... 五十六... 五十七... 五十八... 五十九... 六十... 六十一... 六十二... 六十三... 六十四... 六十五... 六十六... 六十七... 六十八... 六十九... 七十... 七十一... 七十二... 七十三... 七十四... 七十五... 七十六... 七十七... 七十八... 七十九... 八十... 八十一... 八十二... 八十三... 八十四... 八十五... 八十六... 八十七... 八十八... 八十九... 九十... 九十一... 九十二... 九十三... 九十四... 九十五... 九十六... 九十七... 九十八... 九十九... 一百...

参 照

〔一〕明治四十三年三月二十六日公布

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
 南滿洲鐵道株式會社社債保證

南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子ニ對スル補給並社債元利支拂保
 證ニ關スル條件中第六條ヲ左ノ題變更ス

六 政府ニ於テ保證スヘキ社債ノ額面金額ハ資本總額ヲ超過セザルコト
 前項ニ依リ保證スル社債金額ハ借替ノ場合ヲ除クノ外其ノ都度帝國
 議會ノ協贊ヲ經ルコトヲ要ス

〔二〕明治四十三年三月二十六日公布

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
 南滿洲鐵道株式會社ノ事業經營ノ爲發行スル社債ニ對シ現ニ政府カ保證
 ヲ爲スモノノ外更ニ額面金額四千萬圓ヲ限リ元利支拂ノ保證ヲ爲スコト
 ヲ得

〔三〕大正三年三月二十八日公布

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

大正三年三月二十八日公告

南滿洲鐵道株式會社利益配當
南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關シ
南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關シ
南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關シ

南滿洲鐵道株式會社利益配當
南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關シ
南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關シ
南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關シ

大 蔵 省

南滿洲鐵道株式會社利益配當

南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關シ
南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關シ
南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關シ

南滿洲鐵道株式會社利益配當

南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關シ
南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關シ
南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關シ

大正八年四月四日公告

南滿洲鐵道株式會社利益配當
南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關シ
南滿洲鐵道株式會社利益配當及社債利子補給並社債元利支拂保證ニ關シ

